

餞のことば

卒業生のみなさん ご卒業おめでとうございます。
旗の台児童センターでは、同学年の友だちだけでなく、下級生を誘ってドッチボールやゲームを楽しんでいました。また毎週水曜日には、文化センタースポーツ室を利用できるのを楽しみに来館し、普段天井の低い児童センターではできないバトミントンやバレーボールなどを楽しんでいましたね。
中学校へ行き、「部活」「勉強」「友だち」など、新たな環境を楽しみにしている事でしょう。時々児童センターへきて、部活や友だちの話聞かせてください。旗の台児童センターはいつでも皆さんがくるのを待っています。
(文責：旗の台児童センター職員一同)

児童からの言葉



卒業シーズンのため、小学校生活での思い出について6年生よりコメントをいただきました！

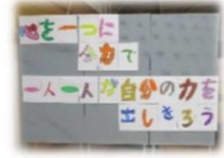
小学生生活で一番心に残っていることは、日光移動教室です。理由は、小学校生活最初で最後の宿泊行事だったからです。日光東照宮の建物はとても大きく迫力がありました。足尾銅山は、とても寒く毎日働くのは、とても辛かっただろうなと思いました。日光は自然豊かで、空気もきれいで心地よかったです。中学生になって頑張りたいことは、たくさん友達を作ることです。その友達と協力し合って良い思い出を作りたいです。
(大原小学校6年生 多賀 龍成)



1/2 成人式



1月21日(土)に二分の一成人式を行いました。「心をついに 全力で 一人一人が自分の力を出しきろう」をテーマに、これまでの自らの成長や感謝を、おうちの人や先生方に伝える会にしようと、事前に話し合いました。そのためには、自分達には何ができるのかを考え、「できるようになったこと」「将来の夢」「おうちの人への手紙」「歌」「よびかけ」を発表しました。どの子も全力で取り組むことができ、子ども達の成長を感じられる式となりました。自分の成長を見つめ直すことで高学年への意識も高まってきました。これからも子どもたちの成長を温かく見守っていただきますよう、よろしくお願いいたします。
(文責：大原小学校教諭 日高 侑子)



えばよん親子防災ヒーロー入団試験を開催しました！！

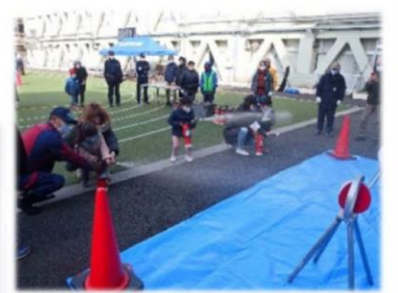


しながわ防災キャラクター
ジージョくん



令和5年1月22日(日)に品川区防災協議会荏原第四地区協議会主催の「えばよん親子防災ヒーロー入団試験」を旗台小学校で開催しました。このイベントは、親子で楽しく防災を学んでもらうための初開催のイベントです。大寒を過ぎたとはいえ、寒波が近づく中、地域の親子や町会ボランティア約120名で行いました。当日は、以下の5つのコンテンツを体験いただきました。

- ・災害時に履物がないことを想定し、新聞紙でスリッパを作り、イボイボロードをスリッパあり、なしで歩く体験
- ・いざというときに持ち出すべきものを、防災リュックに何を詰めるか選択する体験
- ・防災に関する様々なクイズに挑戦
- ・火災発生時の初期消火体験
- ・防災VR体験



全てのコンテンツを体験した参加者には、防災ヒーローの証である缶バッジと参加賞を配布しました。参加者からは、「子どもと防災を考えるととても良い機会になりました。帰りも防災について話しながら帰りました。」「“防災リュック間違い探し”の時に、1番必要で、絶対に入れないといけない物が知れて、とても良かったと思います。また、このイベントがあったら、参加したいです。」「ヒーロー形式で最後に缶バッジなどももらえて嬉しかったです。」などの感想が聞かれ、みなさんに楽しんでいただくことができました。
次回開催の際は、ぜひご参加ください。

えばよん親子
防災ヒーロー入団試験



荏原第五 中学校

「中学生と赤ちゃんとのふれあい事業」



荏原第五中学校では、富士見台児童センター中高生対象事業「中学生と赤ちゃんとのふれあい事業」が行われました。11月25日(金)の放課後に事前学習として助産師さんより赤ちゃんの成長についてお話を聞き、赤ちゃん人形で抱っこ練習や妊婦ジャケットによる妊婦体験を行いました。12月3日(土)の午後はZoomを活用して、児童センターの保護者、赤ちゃんと画面越しに交流しました。赤ちゃんの手形を比べたり、中学生、保護者間でお互いに子育てに関してや、習い事・部活動に関しての質疑応答を行いました。オンライン交流ながら、大変有意義な体験活動となりました。
(文責：荏原第五中学校副校長 廣田 法秋)



☆雪
初雪は 初恋に似て 淡く消え(水)
雪の朝 転び方にも 上手下手(美)
雪だるま 作りたいけど 炭が無い(邦)

☆頑張る
下りなら 階段膝に 活を入れ(健)
年金が 未だ頑張れと 振込まれ(公)
年重ね 今日がんばれば 明日もまた(悦)